

# 株式会社CLホールディングス

証券コード：4286

Today's Theme

通期決算概要とグループ中期経営方針について

## 通期決算概要とグループ中期経営方針について

1. 2023年12月期 通期決算概要
2. 2024年12月期 通期業績予想
3. CLホールディングス グループ中期経営方針

# 1. 2023年12月期 通期決算概要

- 売上収益は、「カフェ物販」、「インターネットサービス顧客向けBPO」、「エンタメ顧客向けOEM」の好調により増収。
- 営業利益は、人材強化の為の person 費用等の増加、テーマカフェサービスの店舗拡大等に伴う減価償却費の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、増加分を増収により吸収し増益。
- 親会社の所有者に帰属する当期利益も増益。

(単位：百万円)	2022年12月期	2023年12月期	前期比
	実績	実績	増減率
売上収益	32,055	36,344	+ 13.4%
営業利益	776	1,079	+ 39.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	364	510	+ 40.2%

## 提供商材別売上収益及び増減要因（前期対比）

		商材・サービス	商材・サービス内容	売上収益 (百万円) ※1	増減 (前期比)	増減要因
エクス・テイ メント※2 サービス	見込み	物販	B2B2C、B2CまたはD2Cで、商品（グッズ）を企画し、消費者に販売するサービスおよびカフェで提供する飲食サービス	11,397	+ 36.3%	カフェ物販（飲食売上含む）が好調に推移
		プレミアム (流通)	流通クライアントに対して、景品（プレミアム）を使用した販促・集客キャンペーン等を企画・実施するサービス	5,533	▲4.5%	エンタメ流通顧客向けプレミアムの不調の影響
プロモーション サービス	受託	BPO※2	クライアントの業務（マーケティング業務や調達業務）およびそのプロセスを受託するサービス	3,513	+ 38.1%	インターネットサービス顧客向けの業務の受託が好調に推移
		OEM※2	委託者のブランドで、景品や商品を企画・生産・調達するサービス	4,990	+ 23.2%	エンタメ顧客向けOEMが好調に推移
		プレミアム (メーカー・外食)	メーカーや外食クライアントに対して、景品（プレミアム）を使用した販促・集客キャンペーン等を企画・実施するサービス	8,340	▲0.4%	飲料メーカー顧客向けプレミアムの不調の影響
		VMD※2	販促什器・陳列棚・POP等の企画・制作・設置や売り場デザイン等を実施するサービス	1,404	▲23.9%	クライアント予算縮小による発注抑制の影響

※1：その他売上収益は省略しています。 ※2：エクス・テイメント・・・エクスペリエンスとエンターテインメントを掛け合わせた造語で、エンタメ顧客体験価値のこと。

## ピックアップ①：プラットフォームの拡大

株式会社エルティールによる、テーマカフェブランドの多角化が着実に進行。

### 長期常設型テーマカフェの拡大



#### ■ Harry Potter Cafe (赤坂)

WIZARDING WORLD characters, names, and related indicia are © & ™ Warner Bros. Entertainment Inc. Publishing Rights © JKR. (s22)



#### ■ miffy café tokyo (代官山)

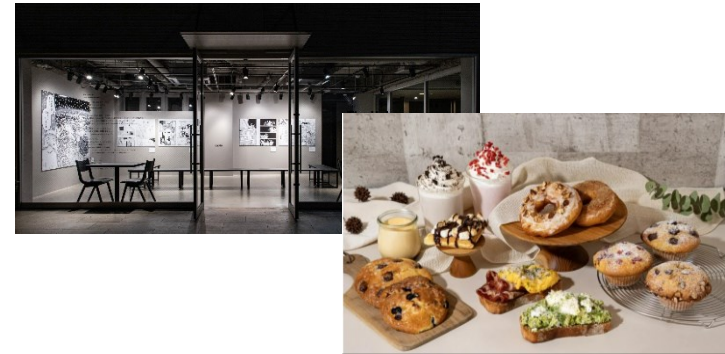
Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis bv,  
1953-2023 www.miffy.com

・大型IPコンテンツを活用した、長期常設型テーマカフェの展開を加速。

### IPコンテンツ×業態の両軸拡大による 新業態の展開

## The Unknown

### Cafe Gallery Harajuku



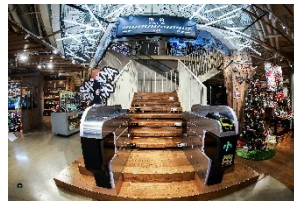
©2023 The Unknown Café Gallery Harajuku

・ホテルでのビュッフェ型カフェ、デベロッパーとの共同でのテーマカフェ開発等、新業態でのテーマカフェの展開を加速。

## ピックアップ②：プラットフォームの拡大

エクス・テイメントサービスを軸に、海外におけるプラットフォームを拡大。

### 日本のIPコンテンツを活用し、催事物販・テーマカフェを中国で展開



■呪術廻戦

■「niko and...」×「呪術廻戦」催事物販 & テーマカフェ（上海・南京・成都・重慶）

・株式会社アダストリアが展開する中国各都市の「niko and...」で、催事物販（イベント型ポップアップショップ）およびテーマカフェを開催。

・今後は中国のみならず、アジア圏におけるプラットフォームの拡大を計画中。

## ピックアップ③：商品・サービスの拡大

新たなエクス・テインメントサービスとして、催事物販サービスの提供を開始。

### 日本のIPコンテンツを活用し、催事物販・テーマカフェを中国で展開



■ hololive CITY

© 2016 COVER Corp.



限定物販



東京ドームシティ アトラクションズ  
とのコラボ企画



ノベルティ



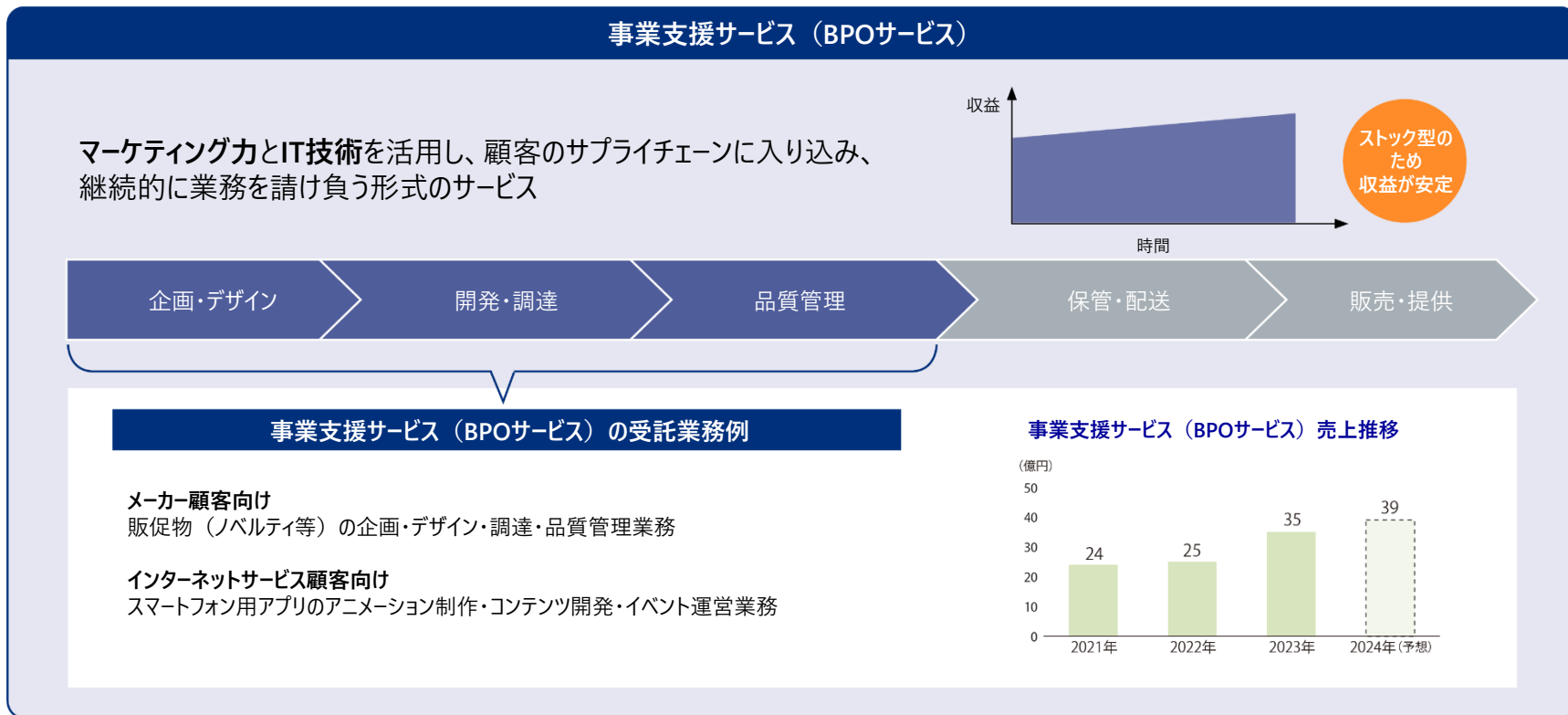
カード付き菓子

- ・大型IPコンテンツとコラボし、スタジアムや大型百貨店等の商業施設でイベント×催事物販サービスを展開。
- ・商業施設の集客に貢献するとともに、IPコンテンツの更なる認知拡大に貢献。



## ピックアップ④： BPOサービスの拡大

スポット型プロモーションサービスの発展形であるストック型の事業支援サービス（BPOサービス）を拡大中。



従来のスポット型に新たにストック型が加わり、プロモーションサービスの安定的拡大へ

## 2. 2024年12月期 通期業績予想

(単位：百万円)

(単位：百万円)	2023年12月期		2024年12月期		前期比	
	実績	(%)	計画	(%)	増減	増減率
売上収益	36,344	100%	41,500	100%	5,155	+ 14.2%
売上総利益	11,334	31.2%	13,300	32.1%	1,965	+ 17.3%
販売費及び一般管理費	10,321	28.4%	11,600	28.0%	1,278	+ 12.4%
営業利益	1,079	3.0%	1,700	4.1%	620	+ 57.4%
税引前利益	1,073	3.0%	1,700	4.1%	626	+ 58.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	510	1.4%	900	2.2%	389	+ 76.1%

●補足:

- ・2022年度より取り組んでおります構造改革や、事業ポートフォリオの最適化が進み、流通プラットフォーム、テーマカフェ、BPO、およびOEMが拡大する見込みです。
- ・事業ポートフォリオの転換に伴い、収益構造の転換や生産性の改善も進んでおり、2023年上期を底として、営業利益額および営業利益率ともに反転し、2024年度は前期比で増益を見込んでいます。

## 配当・資金の使途に関する方針

- ・グループ経営の観点から連結配当性向主義を採用し、業績に応じた配当を実施する。
- ・連結配当性向30%以上として利益配分を実施。

## 配当

- ・2023年12月期配当は、1株当たり16円（中間一円、期末16円）。
- ・2024年12月期配当は、1株当たり27円（中間一円、期末27円）を予想。

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年 (予想)
1株当たり 配当金※1	36.0円	36.0円	11.0円	16.0円	27.0円
配当性向 (連結)	30.5%	29.7%※2	31.2%	31.8%	30.5%

※1：株式分割を遡及修正した金額です。2014年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合での株式分割を実施しております。

※2：2022年12月期より国際財務報告基準（IFRS）を適用しているため、2021年12月期以降は、IFRSに準拠して表示しており、2020年12月期以前は、日本基準を適用して表示しております。なお、日本基準を適用した2021年12月期の配当性向は、31.3%となっております。

# 3. CLホールディングス グループ中期経営方針

## CLグループ中期戦略

### 『収益力の強化』

経営理念の実現のために、私たちは中期で「収益性」を高めます。そのために下記4つを実現します。

グループ中期戦略

4つの  
重点ポイント

(1) 事業ポートフォリオの最適化 (3つの事業領域に集中)

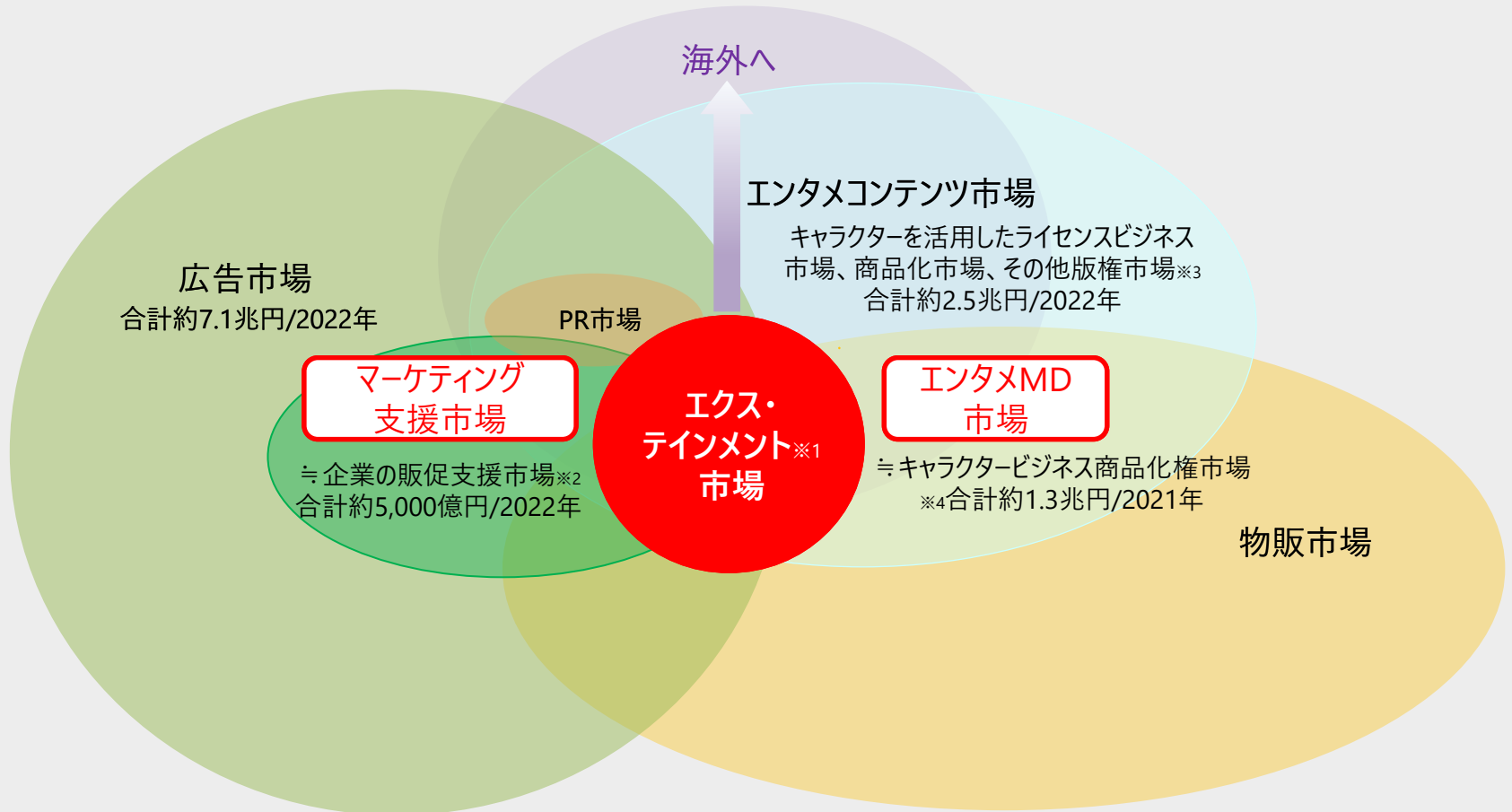
(2) 生産性の向上 (業務の効率化)

(3) 無形資産 (人的資本・知的資産・技術資産) の強化

(4) 投資の最適化 (適正なバランスで継続投資)

## 重点ポイント①：事業ポートフォリオの最適化

CLグループは、「マーケティング支援市場」「エンタメMD市場」とそれにまたがる潜在的な領域である「エクス・テインメント市場」の3つの市場を狙っていきます。



## 重点ポイント①：事業ポートフォリオの最適化

CLグループは、「マーケティング支援市場」「エンタメMD市場」「エクス・テインメント市場」の3つの市場に対して、3つの事業領域を定め、7つの事業でアプローチします。

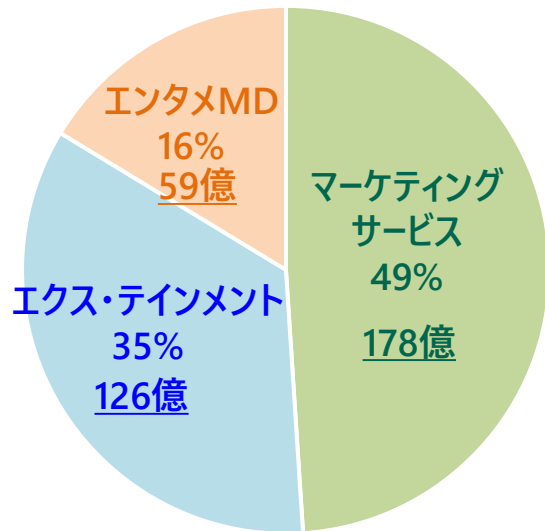




## CLグループ事業領域別売上シェアイメージ

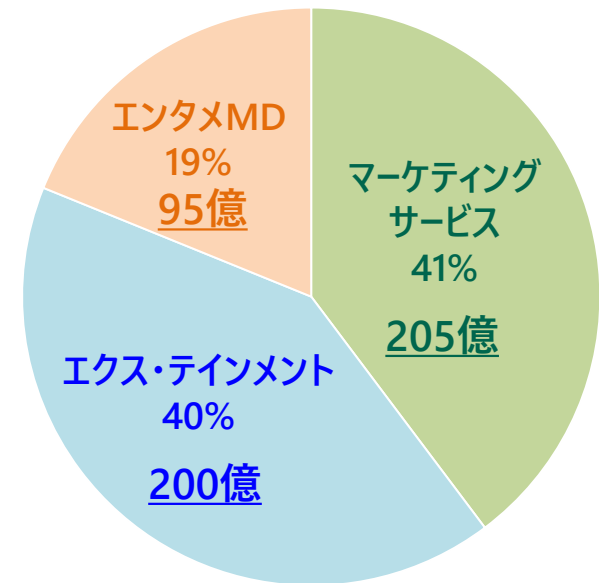
プロモーションを主体とした事業ポートフォリオから、エクス・テインメントを主体とした事業ポートフォリオへのシフトを加速させます。

2023年12月期（実績）



売上収益：363億

2026年12月期（予想）



売上収益：500億

## 2026年12月期 数値目標

売上収益

**500億円**

EBITDA※

**50億円**

※簡易的に、営業利益+減価償却費で計算しています。

# サステナビリティについて

ホールディングスサステナビリティ方針を策定。サステナビリティ専担の執行役員を選任し、サステナビリティ推進室を設置の上、各種取組みを推進中。

## ホールディングスサステナビリティ方針

CLホールディングスは、経営理念の実践を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

### 「人的資本」に関する主な取組み

#### ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DE&I) の推進

##### 〔主な取組み〕

- ・女性管理職比率の向上
- ・パートナーシップ証明書
- ・障がい者雇用の促進



### 「パートナーシップと共存共栄」に関する主な取組み

#### IPコンテンツを活用したSDGs啓蒙活動



©2023 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

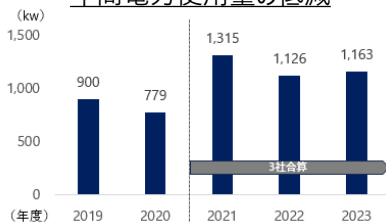
#### パートナー企業・顧客・地域社会・IPクリエイターとのパートナーシップ

##### 〔主な取組み〕

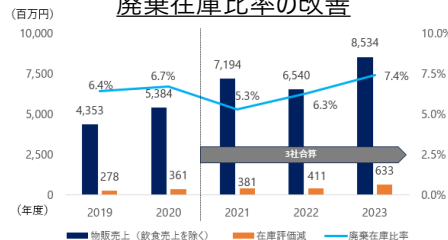
- ・ステークホルダーとの対話・発信 (株主・版權元・パートナー企業)
- ・地域との共創
- ・日本のIPクリエイター支援

### 「環境」に関する主な取組み

#### 従業員1人当たり年間電力使用量の低減



#### 物販売上に対する廃棄在庫比率の改善



### 「商品・サービス」に関する主な取組み

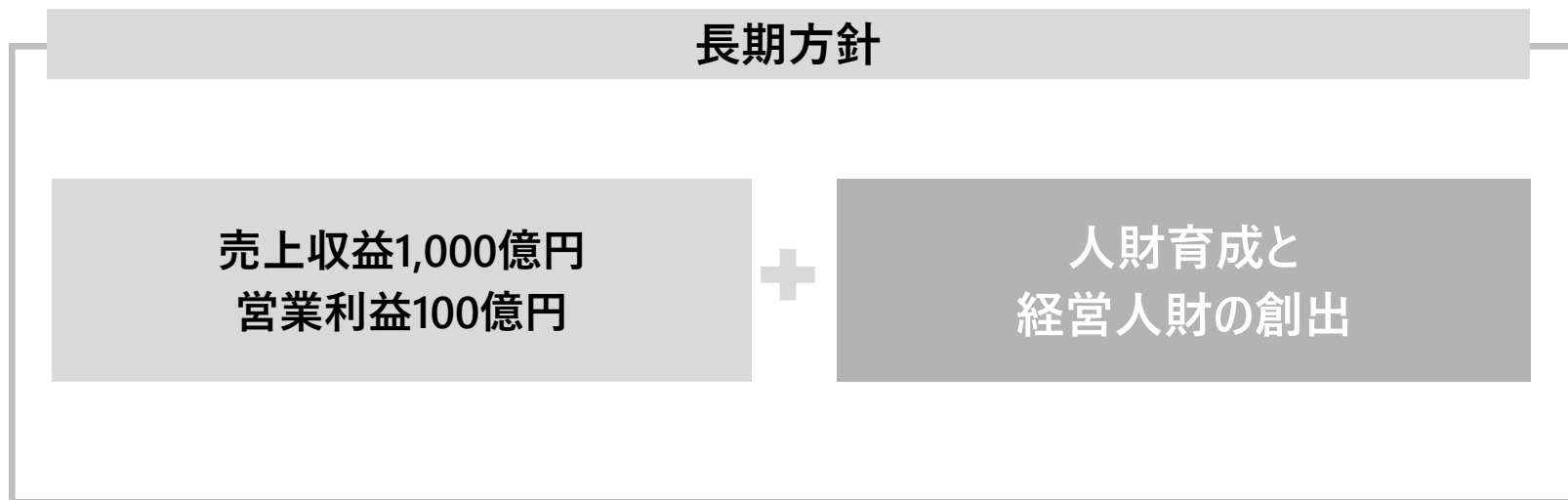
#### 環境に配慮した素材を活用した商材等の開発

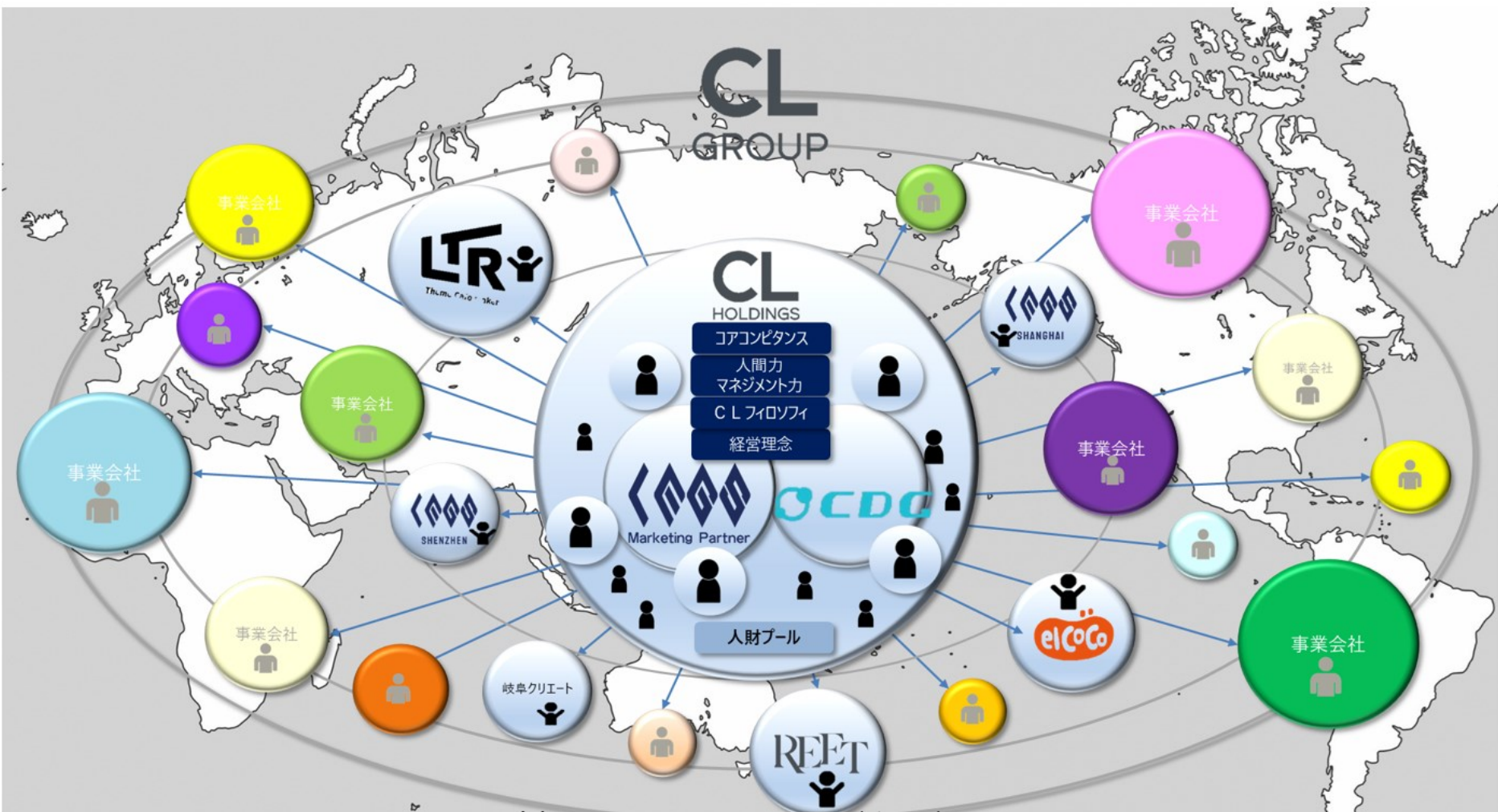
##### 〔主な商品・景品〕

- ・再生陶器マグカップ、ティーカップ、ソーサー
- ・バイオマスプラスチックストロー
- ・フェアトレードコットンを使用したトートバッグ
- ・再生PPクリアファイル



## CLグループ長期方針





新規事業の創出と経営人財を輩出し続けるグループへ

・この資料は当社をよりご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

・この資料に含まれている当社の計画・将来の見通し・戦略等のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述であり、これらは当社がその時点で入手可能な情報による判断および仮定にもとづいています。実際の業績等は、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、見通しと大きく異なる可能性があります。

